

# ふきのとう

☆おはなしをよみ、くふうして音読しよう☆

- ①おはなしのすきなところと、そのわけを、ノートなどに書きしよう。
- ②「く〜」は、だれが話しているか、きょうかしよに書きこみましょう。
- ③おはなしの中で、くふうして音読できるところを見つけて、かんがえたくふうを書きこみましょう。
- ④音読のれんしゅうをいっばいしましょう。
- ⑤音読はつぴょうのつもりで、おうちの人などにきいてもらいましょう。

よが あけました。

あさの ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はっぱが、

竹のはっぱ (小さなこえて、さむそうにふるえながら)

「さむかったね。」

竹のはっぱ (うなずきながら、ふるえながら)

「うん、さむかったね。」

と ささやいて います。

雪が まだ すこし のこって

(小さなこえて、しずかに)

あたりは しんと して います

「く〜」の近くに、だれが話し

ているかかきます。

ようすを思いうかべ、どのよう

に音読したらよいかをかんが

え、くふうを書きます。

「く〜」のところではなくて

も、ばめんのようすがわかると

ころは、音読のくふうがしやす

いので、とりくんでみましょ

う。

ほかのページもやりましょ